

# 静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2001. 9. 5

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）田辺（福浜小）八谷（幡多小）福井（伊島小）

2学期の例会が始まりました。約2ヶ月の夏休みの間、みなさん様々な所で色々な研究をされた様子で今学期の例会もとても楽しみです。サイエンスフィールドは、机や棚が手直しされて広がっていたり、水ロケットにパラシュートがついていたり、押し花などの掲示物が増えていたりして、石浦先生の夏休みの活躍ぶりが感じられました。

## 【福浜環境調査隊】田辺

冬季研修会に向けて田辺先生の授業実践がスタートしています。総合的な学習として環境を取り上げます。1次では学区の身近な自然を調べたりお年寄りから話を聞いたりして問題意識を育て、2次では科学的な手法を用いて学区の環境がどうなっているのか調査する。そして3次では自分たちにできる環境改善の取り組みを考えて実践し、4次では校内や学区に向けて情報を発信するという構想です。

## 【大豆浮力実験器】福井

福井が夏休みに参加したジュニアサイエンスクルーズでもちいた大豆を用いた浮力実験器。容器の中に大豆を入れてピンポン玉を沈め、上にビー玉を置いて振るとビー玉が沈みピンポン玉が浮いてくるといふ古典的な実験道具。しかし、この実験、本当に「浮力」を説明したものなのだろうか？振り方や中に入れる玉の材質を変えながら実験をしました。その結果、どうも「浮力」よりもSize Segregation（大きな粒子と小さな粒子を容器に入れて振ると、重さにかかわらず大きな粒子が浮き上がる）という考えの方が正しいようだといふ結論になりました。

## 【CDを用いたプル練習器】高松

水泳指導で水の抵抗を体感させ、水をかくイメージづくりをする練習器をCDを使って自作されました。市販品だと2千円もする練習器が幅太の輪ゴムを買うだけで作れます。輪ゴムを通す穴ははんだごてで開けるそうです。

## 【部落差別のおこり】高松

以前に紹介された同和教育の授業プランをこの夏リメイクされました。差別の「ケガレ」起源説が理解しやすいように構成されています。力作です。

## 【水に浮く絵】福井

以前「伊東家の食卓」で紹介された実験。鏡にホワイトボードマーカーで絵を描き静かに水面に入れると、絵が鏡からはがれて水面をぷかぷか浮いていきます。

【℃%記憶計】高松 デジタルで記録する温度・湿度計。ちょっと便利すぎますね。

